

令和7年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

「誠実・努力・協調」を校訓として掲げ、生徒も教職員も健康で生き生きと学び続ける自分にとっての「最高」の学校。与えられた生命の可能性を伸張し、能力を最大限に発揮する知性と感性を育み、国際社会の中で適切な判断、意思決定、社会参画ができ、人とつながり、心豊かに次代を生きる力をはぐくむ教育を実践する。

1. 学び続ける意欲と態度を養い、確かな学力を身につけ、高い志を持って将来を見据えた進路を切り拓き、自らの人生を創造する力をはぐくむ。
2. あらゆる教育活動を通して人権感覚を高め、「誠実に生きる力、努力し続ける力、協調する力」を身につけた豊かでたくましい人間性をはぐくむ。
3. 豊かな国際感覚と優れた外国語運用能力を身に付け、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となる人材を育成する。

2 中期的目標

1. 学び続ける意欲と態度、確かな学力の育成

(1) 授業力向上の取組み

- ア 新学習指導要領や高大接続改革を踏まえた「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業の研究・開発・実践を組織的に進める。
- イ 包括的な教育ビジョンに位置づけられた教科指導の学習達成目標及び評価指標を共有し、計画・実践（指導）・評価・改善（PDCA）を繰り返し、不断の授業改善に取り組む。
- ウ 1人1台端末を利用した学習環境を整備し、これまでの教育実践にICTを取り入れ、一斉学習、個別学習及び協働学習を効果的に組み合わせた学びを開発・実践する。
- エ 授業アンケートの結果を踏まえた改善を進め、互見授業・公開授業・校外の研究授業等を通じて組織的な授業力向上の取組みを進める。

(2) 学習到達度の把握と学力伸張の取組み

- ア 1年次から学力生活実態調査、模擬試験等を利用して学習到達度を把握し、教科・学年・分掌が協働して基礎学力定着と応用的学力伸張に取り組む。
- イ 授業において、「復習・予習→授業→復習・予習」のサイクルを日々行う意識を根付かせ、学び続ける力をつける。

(3) 自学自習の習慣を確立する取組み

- ア 生徒が主体的に個別の学習到達目標を設定し、1年次から自学自習が学力伸張に繋がる実感が持てるように持続可能な学習支援を効果的に行う。
 - イ 小テスト・朝学・補習・講習・週末課題など、これまでの教育実践がより効果的な学習になるようにICTを取り入れ、学習動画配信やオンライン学習の開発・実践に取り組む。
 - ウ 学校経営推進費整備事業（R3）の「花園高校図書学習情報センター」を効果的に運用して以下のミッションを達成し、生徒のあらゆる学びを支援するシステムを構築する。
 - ① 「情報発信スタジオ」を整備し、教員によるオンライン教材の開発を進める。
 - ② 「校内教育資料横断検索システム」を構築し、書籍や学校行事等の映像、各教科等の学習動画などをアーカイブ化し、本校の教育活動全般を検索・閲覧できるようにする。
 - ③ 「生徒が読みたい本」「生徒に読ませたい本」を整備し、読書活動を啓発し、読書によって教養を身につける経験をさせ、自主的な読書活動を支援する。
- *学力生活実態調査（2年次8月）B2以上40%（R4：20.0%、R5：38.0%、R6：33.7%）、B3以上80%（R4：45.1%、R5：71.0%、R6：68.5%）
- *「生徒向け学校教育自己診断（以下生徒自己診断）」令和9年度までに
「授業などで自分の考えをまとめたり、発表したりすることがよくある」92%以上（R4：85%、R5：89%、R6：91%）、
「教え方に工夫をしている先生が多く、授業は分かりやすい」90%以上（R4：84%、R5：83%、R6：88%）、
「コンピュータ等のICT機器が授業などで活用」90%以上（R4：95%、R5：93%、R6：93%）、
「授業・補習を通じて、進路に必要な学力を得ることができる」90%以上（R4：88%、R5：87%、R6：91%）、
「態度よく集中して授業を受ける」90%以上（R4：87%、R5：86%、R6：92%）、
「宿題・予習・復習など、家庭学習の習慣がついている」70%以上（R4：59%、R5：59%、R6：68%）、
*令和9年度に向け、年間図書貸出冊数を前年比1.1倍増。（R6：1126冊）

2. 将来を見据えた進路を切り拓く力の育成

(1) 進路指導体制の構築

- ア 新学習指導要領や高大接続改革を踏まえた3年間の進路指導計画を策定し、教科・学年・分掌の協働による全教職員が一体となって取り組む進路指導体制を構築する。
- イ 大学や企業など外部の様々な職業人を講師として招聘し、または、訪問して学ぶ機会を安定して供給できる体制を整える。

(2) 探究的学習の推進

- ア 「第4次大阪府子ども読書活動推進計画」に則り、SDGs探究活動や進路探究学習に読書活動を積極的に取り入れ、インターネットによる情報のみに頼らない、確かなエビデンスに基づく探究的学習を実践し、自らの進路を切り拓く力を育成する。
 - イ 「総合的な探究の時間」や「花園進路探究プログラム」等で自発的に学び探究する能力を引き出し、全生徒が探究活動を通じて成長した実感が持てるよう指導する。
 - ウ SDGsに係る探究活動において、当事者に共感し、真に当事者意識を持って課題解決する能力を養い、未来を創造する力を育成する。
- *生徒自己診断 令和9年度
「将来の進路や生き方について考える機会がある」94%以上（R4：91%、R5：91%、R6：94%）、
「探究的な学習を積極的に取り組む」86%以上（R4：80%、R5：75%、R6：84%）、
「自分の進路についてしっかりと考えている」87%以上（R4：79%、R5：78%、R6：85%）、
*国公立大学及び難関私立大学現役合格者100名以上、（R4：178、R5：182、R6：167）、学校斡旋就職内定率100%。

3. 人権が尊重された教育の推進と社会性の育成

(1) 自己とあらゆる他者の人権を尊重し、多様性を認め、高め合う感性の育成

- ア 互いに理解し繋がる力を育成し、誰もが自分の居場所がある集団育成に取り組む。
- イ 関係教科と連携し、組織的・継続的な指導を行い、情報リテラシーを育成する。

(2) 社会性の育成

- ア TPOに応じ、責任感を持って行動できる生徒を育成する。
- イ 校内美化を推進し、落ち着いて学習に取り組むための清潔で快適な学習環境を保つ。

(3) 自主的な活動への参画

- ア 生徒会活動やボランティア活動に協調性を持って積極的に取り組む生徒を育成する。
- イ 部活動に所属して生徒が主体的に個性や能力を伸張する機会を確保し、目標を持って継続して取り組む生徒を育成する。

*生徒自己診断 令和9年度

- 「本校で人権を尊重することについて学べている」96%以上を維持（R4：92%、R5：92%、R6：96%）、
- 「HR教室は居場所として快適である」90%以上を維持（R4：91%、R5：89%、R6：91%）、「本校で友好的な人間関係を築けている」95%以上を維持（R4：93%、R5：95%、R6：9195%）、
- 「本校の校則や決まりをよく守っている」88%以上を維持（R4：94%、R5：95%、R6：86%）、
- 「教室や廊下などは清掃がいきとどき授業をするのにふさわしい環境である」73%以上（R4：72%、R5：68%、R6：71%）、
- 「HR活動や生徒会行事に積極的に参加」90%以上を維持（R4：89%、R5：88%、R6：91%）、「部活動が活発」90%以上を維持（R4：94%、R5：94%、R6：95%）

4. 豊かな国際感覚と優れた外国語運用能力の育成

(1) 多文化理解教育の一層の充実

- ア 留学生や姉妹校との交流（WEBを含む）や多文化理解に係る体験的学習を推進し、多文化共生について深く考え、課題の解決に協働して向かう姿勢を養う。
- イ 英語や第二外国語（韓国朝鮮語・中国語・フランス語）の授業等を通して、異国の文化や伝統等を学び理解し尊重する態度を養う。

(2) 英語4技能を総合的に伸ばす英語教育の充実（国際文化科・普通科）

- ア ICTを活用し、4技能を総合的に伸ばす指導方法を開発するとともに、ネイティブ英語教員を最大限にいかした英語教育を実践する。
- イ スピーチコンテストやインターナショナル・フェスティバル等で発表する機会を積極的に取り入れる。
- ウ 英語運用能力について、英検2級取得を目標とするとともに、第二外国語の語学検定試験、英検準1級等資格取得に挑戦させる。
- エ 国際理解教育を推進し、生徒の視野を広げ、海外語学研修や留学に挑戦させる。

*生徒自己診断 令和9年度 「国際交流・国際理解教育が充実」95%以上（R4：91%、R5：90%、R6：94%）

*令和9年度までに、国際文化科2年英検2級取得25%[R6：22%]

参考CEFR-JスコアB1.1以上50%、A2.2以上100%（R4：B1.1以上46%、A2.2以上100%、R5：B1.1以上46%、A2.2以上100%） *R6までの指標

5. 学校力の向上

(1) 業務の効率化と生産性を向上させる仕組みづくり及び働き方改革の推進

- ア 教科・学年・分掌の持続可能な協働体制を確立し、すべての教職員が主体的に学校経営に参画する意欲を持つ教職員集団を組織する。
- イ 人権教育や防災教育の推進、授業改革やオンライン学習支援の充実、生徒指導や進路指導のスキル向上など教職員の資質向上に寄与する研修を効果的に実施する。
- ウ ICTソリューションを活用した会議運営及び情報共有の効率化を図るとともに全校一斉定時退庁日を定着させ、働き方改革を推進する。

(2) 広報活動の充実、開かれた学校づくりの推進

ア 学校説明会等における「花園 PRESS」活動や WEB ページの充実、及び、地域・中高・高大の連携を推進する。

*教職員自己診断 令和9年度

「会議が有効に機能」80%以上 (R4 : 66%、R5 : 70%、R6 : 79%)、「各組織の連携」65%以上 (R4 : 58%、R5 : 45%、R6 : 65%)、

「校内研修は役立つ」65%以上 (R4 : 70%、R5 : 66%、R6 : 63%)、「中学生への情報発信」90%以上 (R4 : 96%、R5 : 87%、R6 : 87%)、

「保護者や地域に対して十分な情報を伝えている」80%以上、(R4 : 78%、R5 : 74%、R6 : 75%)、

*保護者自己診断「保護者への連絡や情報提供を積極的に行っている」85%以上 (R4 : 84%、R5 : 79%、R6 : 85%)。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和7年12月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p>今年度、生徒の自己診断結果肯定率 80%以上の項目が 25 /30 項目。前年比 10%以上増減した項目は「20：私は、本校の校則や決まりをよく守っている。」が 95.1% (R6:86%、110.6%増) のみであった。</p> <p>生徒の授業に対する評価は「8：授業などで自分の考えをまとめたり、発表したりすることがよくある。」肯定率 95.0% (R6: 91%) や「7：コンピューター等の ICT 機器を授業などで活用されている。」肯定率 94.7% (R6:93%) というように授業の中身に関する数値は上昇しているものの、「9：教え方に工夫をしている先生が多く、授業はわかりやすい。」肯定率 87.7% (R6:88%) の数値は少し減少した。授業の工夫に伴って、わかりやすさも 90%を超える数値になるよう今後も授業改善に向けて全校で取り組んでいく。</p> <p>「5：高校生活を送るうえでの施設・整備が整っている。」肯定率 79.7% (R6:78%) については、一昨年度の肯定率 71%から少しずつ上昇している。今年度もトイレの改修や教室の美装化、屋上の防水工事などが進んだ。</p> <p>生徒の「13：私は宿題・予習・復習など、家庭学習の習慣がついている。」肯定率 67.4% (R6:68%)、保護者の「7：子どもには、宿題・予習・復習など、家庭学習の習慣がついている。」肯定率 59.3% (R6:51%) については数値を伸ばすことはできなかった。今後とも教育産業の学習動画配信サービスの使用を促し生徒が学習意欲を持つことのできるきっかけ作りをしていくことと、日々の学習習慣を身に付けるよう働きかけを継続していく。</p> <p>教職員の自己診断結果は、13/29 項目で肯定率 80%以上、3 /29 項目が肯定率 50%以下であり、肯定率の低い3項目は「3：教室や廊下などは清掃がいきとどき、授業をするのにふさわしい環境である。」肯定率 43.4% (R6: 32%)、「14：本校生徒の多くは、規則正しい生活を送っている。」肯定率 47.2% (R6: 51%)「15：本校生徒は、校則をよく守り、社会通念上許容される「身だしなみ」で登校している。」肯定率 39.6% (R6: 32%) であった。3 について、教室清掃は毎日行っているが、私物をロッカーに保管し、教室内には放置せず自己管理するなど、授業の受けやすい環境にしておくことを意識していきたい。14.15 については社会に出てから必要になるであろう生活習慣の確立や TPO や着こなし等の「身だしなみ」について教えることで、肯定率の上昇につなげる。また、校則等については、校内で生徒指導の意識を統一し、指導していく。</p> <p>昨年肯定率の低かった「29：本校では、危機管理体制が明確になっている。」は 10.7%増、「17：いじめ(疑いを含む)が起こった時の体制が整っており、迅速に対応することができている。」は 14.4%増となり改善された。また、今年度7月から Instagram の公式アカウント立ち上げ、生徒の学校生活の様子などを配信して本校の魅力を中学生や保護者、地域等に広く広報することを目標に運用してきた結果、生徒の「28：本校では中学生に必要な情報発信を十分に行っている。」肯定率 93.0% (R6: 90%)、保護者の「22：花園高校は、保護者への連絡や情報提供を積極的に行っている」肯定率 86.8% (R6: 85%)、教職員の「22：本校では、教育活動に必要な情報について、保護者や地域に対して十分な情報を伝えている。」肯定率 86.5% (R6: 75%) とどの数値も改善された。</p>	<p>【第1回 (R7 / 6 / 20)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○会長、副会長の選出 ○令和6年度 進路結果 報告 ○府立高校改革「入試改革」に向けて <ul style="list-style-type: none"> ・令和10年度に向けたスクール・ポリシーの点検 花園高校は国際文化科という特色のある学校。スクールポリシーはそれも含めて作成しているので従来通りで問題ないだろう ・令和10年度以降の選抜に向けた学校特色枠の作成について 花園高校の良さがだせるような内容をめざしてほしい。 不登校生徒が増加、評定がほぼ出ない生徒にも受検チャンス他校とも情報を共有しながら作成の参考にしては 私学の英語を特色とした取組みは人気が増加傾向であることも参考に ○令和7年度 学校経営について計画及び令和6年度評価の確認 ○府立高校改革「広報改革」について <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の新たな取り組みの紹介 公式 Instagram の運用開始予定 定期的な更新がないと生徒、保護者が見なくなるため、月に1度でもいいので更新できるようにわけではないが、ICT化は、1年前よりもさらに進化しているように感じた <p>【第2回 (R7 / 10 / 31)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第1回授業アンケート結果について 生徒の自己評価で「予習復習をしている」という数値が低い 中学校で行う授業アンケートと似通っている部分があり、保健体育や芸術の科目がよい評価。ただ、それ以外の教科において、教科による数値の差が少ない部分が、全体的により状態であると感じる 学年ごとの分析があれば、学年進行による推移が見られるので分析してみよう 生徒の自己評価で「自ら主体的に学習している」の数値が高い(約7割)ことに、生徒たちの授業に対する意欲が感じられてよい ○授業見学を終えて アンケート「自ら主体的に学習している」の数値が高かったり生徒たちが授業に積極的に取り組んでいる姿勢を見ることができた 少人数で授業を行っているため、生徒と先生の距離が近く、コミュニケーションをとりやすい状態であると感じた 電子黒板等の機器を十分に使うことができている授業、使うことができている授業、様々だった。ここ数年で急激に授業の形態が変化している。 今後はデジタルで習熟度別に学習できる個別最適化の教育が進んでいくことが予想できる ICTを活用しやすい教科、しにくい教科・授業があるため、何でも ICT というわけではないが、ICT化は、1年前よりもさらに進化しているように感じた <p>【第3回 (R8 / 2 / 6)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和7年度 進路結果 速報 (2/6 現在) 進路指導部長より今年度の報告、傾向等の説明 ○第2回授業アンケート結果について 第1回の結果に比べ、全9問すべてで、肯定的回答の数値が上昇 ○令和7年度 学校教育自己診断結果について 【委員より】 【学校の施設、整備に関する評価において、生徒の肯定的評価が他の回答と比べて低い。ただ、学校だけでどうにかなる問題ではなく、教育庁とも引き続き協力してほしい】 【現状、花園高校は中学3年生の希望調査の結果を見てもわかるように「人気」がある学校。今のうちになぜ人気があるのかを分析し、人気の理由、強みを教職員で共有し活かしてほしい】 【保護者の回答で「子どもを花園高校に入学させてよかった」に対する肯定的評価が高いことはよい結果。親・保護者の間で学校の評判は伝播して口コミとして広がるはず】 【生徒の回答で「友好的な人間関係を築けている」に対する肯定的評価が高いことは安心につながる】 ○令和7年度 学校経営計画及び学校評価(案)承認 ○令和8年度 学校経営計画及び学校評価(案)承認

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R6年度値]	自己評価
1 学び続ける意欲と態度、確かな学力の育成	(1) 授業力向上の取組み (2) 学習到達度の把握と学力伸張の取組み (3) 自学自習の習慣を確立する取組み	ア 「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業研究や実践の共有化のため、教職員が随時閲覧可能な資料のアーカイブ化を行う。 イ 「観点別学習状況の評価」の運用を円滑に実践し、指導と評価の一体化を進める。 ウ ICTを活用した効果的で効率の良い授業を開発・実践する。 エ リーディング GIGA ハイスクール・アドバンス校として研究公開授業を行い、電子黒板を効果的に活用した授業開発を進める。 ア・教科ごとに学習到達度分析会を年3回実施する。学力向上を図る具体的な取組みを教科・学年・進路指導部が協働し実践する。 イ・持続性のある主体態度を伸張する授業計画を組織的に立て、教科間の連携を図りながら無理のない課題を与え、生徒が主体的に学ぶ意欲を向上させる。 ア・学習支援クラウドサービスを活用し、予習・復習を毎時の授業に反映させる。 イ・朝学や週末課題配信、教育産業の動画配信サービス等を活用し自学自習習慣をつける。 ウ・教科と連携して「読書啓発月間」を実施し、月に1冊以上の読書を促す。	ア・授業アンケート総合 3.40 以上[3.40] 教育関係資料のアーカイブ化 前年度比 1.4 倍 イ・生徒自己診断「成績・評価は適切」 90%以上[93%] ・「発表する機会」90%以上[91%] ウ・生徒自己診断「ICT 機器が活用されている」90%以上[93%] ・「授業はわかりやすい」89%[88%] エ・電子黒板を活用した研究公開授業を年5回以上実施[7回] ア・学力生活実態調査における学力 B2以上 35%[34%]、 B3以上 70%[69%] (2年次8月) イ・生徒自己診断「授業に集中」 90%以上[92%] 「授業・補習で進路に必要な学力を得ることができる」90%以上[91%] ア・授業アンケート「予習や復習ができています」 3.35[3.34] イ・生徒自己診断「自学自習の習慣がついた」 70%[68%] 1人1台端末活用 90%以上[94%] ウ・年間図書貸出冊数： 前年比 1.1 倍増、[1126冊]	ア・授業アンケート総合 3.39 (○) 教育関係資料のアーカイブ化 前年度比 1.4 倍(○) イ・生徒自己診断「成績・評価は適切」93% (○) ・「考えを発表する機会」95% (○) ウ・生徒自己診断 「ICT 機器が活用されている」95% (○) 「授業はわかりやすい」 88% (○) エ・電子黒板を活用した研究公開授業を実施 (7回) (○) ア・学力実態調査における学力 (2年次2回目) B2以上[32%] (○) B3以上[33%] (○) イ・生徒自己診断「授業に集中」92% (○) ・「授業・補習を通じて進路に必要な学力を得ることができている」93% (○) ア・授業アンケート「授業内容について必要な予習や復習ができています」3.22 (△) イ・生徒自己診断「自学自習の習慣」67% (○) ・1人1台端末活用 96% (○) ウ・年間図書貸出冊数[1080冊] (△) 昨年度比 0.96 倍 授業での利用(国語・探究等)が減少した
2 将来を自覚した進路を切り拓く力の育成	(1) 進路指導体制の構築 (2) 探究的学習の推進	ア・進路指導方針に沿った教科単位の具体的な3年間の指導計画を策定・共有し、各学年「集中学習会」を実施する。 ・外部模試等の結果を踏まえ、進路実現に向けた学習計画や内容の確認・修正を組織的な取組みとして個別に行う。 ・理系人材の育成に向け DX 事業の推進を図る。 イ・近畿大学・畿央大学等との高大連携や企業との連携事業を推進し、キャリア教育を充実させる。 ア・「総合的な探究の時間」について、SDGs をテーマに「深い学び」につながる指導を行う。 イ・生徒が自発的に探究し、発表する機会を作り相互評価によって高めあう集団を育成する。 ウ・SDGs に係る探究活動を通して思考力や共感力を育成し、その成果を発表する機会を設ける。	ア・国公立大学及び難関私立大学現役合格者 100 名以上[集計中] (63 人) 生徒自己診断 「進路指導の充実」90%以上[91%] 「科目選択満足度」90%以上 [91%] 模試等分析会 4回 [5回] R8 年度「情報Ⅱ」選択者 10 人以上 イ・生徒自己診断「自分の進路についてしっかりと考えている」86%[85%] ア・生徒自己診断「探究的な学習を積極的に取り組む」85%[84%] イ・生徒自己診断「将来の進路や生き方について考える機会がある」 90%以上[94%] ウ・「花園進路探究プログラム」として生徒の体験活動実施2企画[2企画] ・LETS 合同発表会に向けた学年発表会を2回実施 [2回]	ア・国公立大学及び難関私立大学現役合格者 144 名 ・進路指導の充実 92% (○) ・科目選択満足度 94% (○) ・模試等分析会 5回 (○) ・R8 年度「情報Ⅱ」選択者 10 人 (○) イ・生徒自己診断「自分の進路についてしっかりと考えている」82% (○) ア・生徒自己診断「探究的な学習を積極的に取り組む」82% (○) イ・生徒自己診断「将来の進路や生き方について考える機会がある」96% (○) ウ・「花園進路探究プログラム」として生徒の体験活動2企画を維持 (○) ・LETS 合同発表会に向けた学年発表会を2回実施 (○)
3 人権が尊重された教育の推進と社会性の育成	(1) 自己とあらゆる他者の人権を尊重し、多様性を認め、高め合う感性の育成 (2) 社会性の育成 (3) 自主的な活動への参画	ア・誰もが生まれながらにして持っている人間として幸せに生きていく権利を尊重する心を育み、互いに認め合う集団育成を進める。 ・同和問題について学習し理解を深める。 イ・教科と連携した様々な角度から情報リテラシーの学習を実践する。 ア・規範意識を持ち、基本的な生活習慣を確立するため、遅刻防止週間を実施する。 イ・日常の清掃活動を実施計画により実践する。 ア・生徒が企画・運営する花高祭を実現する。 ・ボランティア活動等の地域連携を深める。 イ・部活動に係る施設・設備等の充実や指導者を拡充し、部活動を頑張る生徒を応援する。	ア・生徒自己診断「人権尊重について学べている」90%以上[96%] ・「HR 教室は居場所として快適である」90%以上[91%] ・3年生で同和問題に係る人権学習を1回以上実施 [1回] イ・学校生活と人権に関するアンケート(3年12月)「インターネットと人権侵害について学んでよかった」 90%以上[97%] ア・生徒自己診断「私は本校の校則や決まりをよく守っている」87%[86%] イ・生徒自己診断「教室や廊下等は清掃が行き届いている」72%[71%] ア・生徒自己診断「HR 活動や生徒会活動に積極的に参加」90%以上[91%] イ・生徒自己診断「部活動が活発」 90%以上 [95%] ・部活動ブログの更新 (各学期1回：年3回)。[3回]	ア・生徒自己診断「人権を尊重することについて学べている」96% (○) ・「HR 教室は居場所として快適である」91% (○) ・3年生において、同和問題に係る人権学習を1回実施 (○) イ・3年次、12月実施の学校生活と人権に関するアンケート「インターネットと人権侵害について」を学んでよかった 97% (○) ア・生徒自己診断「私は本校の校則や決まりをよく守っている」95% (◎) イ・生徒自己診断「教室や廊下等は清掃が行き届いている」73% (○) ア・生徒自己診断「HR 活動や生徒会活動に積極的に参加」91% (○) イ・生徒自己診断「部活動が活発」96% (○) ・部活動ブログの更新 年2回実施 (△) 部によりばらつきがある。継続した声掛けが必要。

府立花園高等学校

<p>4</p> <p>豊かな国際感覚と優れた外国語運用能力の育成</p>	<p>(1) 多文化理解教育の一層の充実</p> <p>(2) 英語 4 技能を総合的に伸ばす英語教育の充実</p>	<p>ア・在日外国人や留学生との交流や姉妹校等との対面または WEB 交流を推進し、多文化理解に係る体験的学習を充実させる。</p> <p>イ・語学教育を通して、他国の文化や伝統、習慣等について学ぶ機会を充実するために、2 年次でポスターセッションを行う。</p> <p>ア・ICT を活用した CanDo リストに基づく 4 技能を総合的に伸長する教育を実践する。</p> <p>・教育産業の学習教材を効果的に活用し、高いレベルの英語力を育成する。</p> <p>イ・1 年レシテーション及び 2 年スピーキングコンテストの実施やインターナショナル・フェスティバル等に向けた講習を充実させる。</p> <p>ウ・英検準 1 級対策講座実施、第二外国語検定を積極的に勧める。</p> <p>・国際文化科の生徒の英語力到達目標を英検 2 級取得とし、教科指導を実践する。</p>	<p>ア・姉妹校等との交流</p> <p>・全北外国語高校との Web 交流 2 回 夏期海外語学研修実施 [年 1 回]</p> <p>イ・生徒自己診断「国際交流・国際理解教育が充実」90%以上維持[94%]</p> <p>第二外国語発表会参加</p> <p>ア・学力生活実態調査英語（2 年次 8 月）において学習到達度の人数 A3 以上 15.0%以上[11%] B3 以上 70.0%以上[66%]</p> <p>イ・英語 speech contest 開催 インターナショナル・フェスティバル参加</p> <p>ウ・英検準 1 級以上合格者 2 名[0 名]</p> <p>・国際文化科 2 年生の英検 2 級取得 25%[22%]</p>	<p>ア・姉妹港との交流</p> <p>全北外国語高校との交流 対面 1 回、Web 2 回 (○) 夏期海外語学研修 1 回 (7/27~8/9) (○)</p> <p>イ・生徒自己診断「国際交流・国際理解教育が充実」96% (○)</p> <p>・第二外国語発表会参加【1/25 予定】</p> <p>ア・学力生活実態調査英語（2 年次 8 月実施）において学習到達度の人数 A3 以上 11% (○) B3 以上 66% (○)</p> <p>イ・授業やレシテーションスピーキングコンテスト等、発表機会の充実、英語 speech contest 開催 インターナショナルフェスティバル等参加 (○)</p> <p>ウ・国際文化科 3 年次 12 月 CEFR-J ・国際文化科 2 年生の英検 2 級取得 32% (○) ・英検準 1 級以上合格者 1 名[0 名]</p>
<p>5</p> <p>学校力の向上</p>	<p>(1) 業務の効率化と生産性を向上させる仕組みづくり及び働き方改革の推進</p> <p>(2) 広報活動の充実、開かれた学校づくりの推進</p>	<p>ア・『将来構想委員会』設置し、分掌業務及び各委員会組織の見直しを行う。</p> <p>・教科・学年・分掌の協働体制を確立し、機能的な学校運営体制の構築をめざす。</p> <p>イ・人権、防災、ICT、授業改善に係る職員研修を各 1 回実施する。</p> <p>ウ・ICT ソリューションを活用した会議のスリム化及び情報共有の効率化を実現する。</p> <p>・定時退庁日の励行に取り組む。</p> <p>みどり清朋高校との部活動連携を充実させ、「部活動方針の遵守」に努める。</p> <p>ア・「花園 PRESS」活動を充実し、生徒による広報を推進する。</p> <p>・本校ホームページ及び公式ブログ等で教育活動を積極的に発信するため組織的に取り組む。</p> <p>・保護者に対し、迅速かつ的確な情報を提供し、情報発信の広報を積極的に行う。</p> <p>イ・生徒会活動としての地域連携（小学校・中学校・高校など）に取り組む。</p>	<p>ア・教職員自己診断「学年・分掌・教科等会議が有効に機能」80%[79%]</p> <p>「各組織の連携」66%[65%]</p> <p>イ・教職員自己診断「研修は役立つ」64%[63%]</p> <p>ウ・時間外勤務時間 1000 時間減 定時退庁日（木曜）の定着化</p> <p>・時間外勤務月 80 時間以上の職員のべ 20 人以下[21 人]</p> <p>バドミントン、硬式テニス部は維持、検討中の 2 クラブの連携を進める。</p> <p>ア・生徒自己診断「中学生に情報発信を十分行っている」90%以上[90%]</p> <p>・ホームページまたは公式ブログの更新の組織化</p> <p>・保護者自己診断「保護者への連絡や情報提供を積極的に行っている」86%[85%]</p> <p>・教職員自己診断「保護者や地域に十分な情報を伝えている」76%[75%]</p> <p>イ・近隣 3 高校での生徒会交流（はひふサミット）年 1 回[1 回]</p>	<p>ア・教職員自己診断「学年・分掌・教科等の会議は有効に機能」72% (△)</p> <p>各教員のそれぞれの思いがうまく校務に反映しないことがあるようなので更なる調整が必要</p> <p>「各組織の連携」66% (○)</p> <p>イ・教職員自己診断「研修は役に立つ」64% (○)</p> <p>ウ・時間外勤務時間減 900 時間（12 月末）(△)</p> <p>1 人の平均 41 時間→26 時間となった。</p> <p>定時退庁日の励行に努める</p> <p>・時間外勤務 80 時間以上の職員のべ 11 人 (○)</p> <p>・バドミントン部、ソフトテニス部はみどり清朋高校との部活動連携継続中</p> <p>ア・生徒自己診断「中学生に必要な情報発信を十分に行っている」93% (○)</p> <p>・ホームページまたは公式ブログの更新年 20 回、SNS 39 回更新 (○)</p> <p>・保護者自己診断「保護者への連絡や情報提供を積極的におこなっている」87% (○)</p> <p>・教職員自己診断「保護者や地域に対して十分な情報を伝えている」87% (◎)</p> <p>イ・近隣 3 高校での生徒交流（はひふサミット）開催せず (△)</p> <p>3 校の予定が合わなかった。今後の開催は未定。</p> <p>・近隣地域の運動会に生徒有志が参加</p>